

11月1日の日本株急落について

日米の企業業績を踏まえた冷静な姿勢で臨みたい

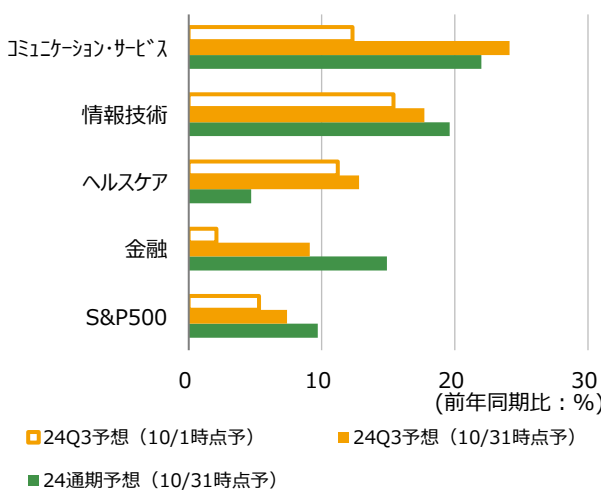
2024年11月1日

米ハイテク株安と円高進行が意識され、大幅続落となった日経平均株価

11月1日の日経平均株価は前日比1,027円（2.6%）安の3万8,053円と大幅続落しました。株安の主な要因としては次の3点が挙げられます。①10月31日の米国株式市場において、前日の取引終了後に発表されたマイクロソフトやメタの7-9月期（Q3）決算における業績や設備投資の見通しが失望され、ハイテク株主導で株価が急落したこと。東京市場にもハイテク株売りが波及した。②10月31日の日銀金融政策決定会合後の記者会見における植田総裁の発言が、早期の追加利上げを意識させたことで、一時1米ドル151円台後半まで円高が進行したこと。③今晚11月1日の10月米雇用統計の発表や11月5日（現地）投開票の米大統領選を控えているなか、三連休に入る東京市場では、買いを手控える投資家が多かったこと。

もっとも日本株のファンダメンタルズについては過度に悲観する必要はないと考えています。前述の①についてですが、今回、国内ハイテク株安を誘った米ハイテク株（コミュニケーション・サービスや情報技術）が、AI事業を軸とした成長により、米企業の業績をけん引するとの見方は不変と予想されます（図表①）。②についても、現状の為替水準で国内企業の2024年度業績は前年度比+7.5%程度の経常増益を確保できる見通しです（図表②）。内外の政治情勢が不透明な中、市場が変動しやすい地合いではありますが、株価の裏付けとなる企業業績の方向性はしっかりしたものであることには留意したいところです。

図表①・S&P500の主要セクター別増益率



※LSEG予想。10/31時点で324/500社が24Q3（7-9月期）決算発表済
(出所) LSEGより大和アセット作成

図表②・主要上場企業の為替前提別経常増益率

	2024年度の経常増益率		
	事業会社	製造業	非製造業
1ドル130円、1ユーロ145円	1.6%	-3.4%	8.5%
1ドル135円、1ユーロ150円	3.0%	-0.7%	8.2%
1ドル140円、1ユーロ155円	4.5%	2.1%	8.0%
1ドル145円、1ユーロ160円	6.0%	4.8%	7.7%
1ドル150円、1ユーロ165円	7.5%	7.5%	7.5%
1ドル155円、1ユーロ170円	9.0%	10.2%	7.2%

※2024年7月以降の為替変動分を反映
(出所) 大和証券企業業績見通しを基に大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。